

## 研究チームの紹介コーナー

電気利用技術研究所 バイオ・水産グループ  
バイオ・栽培チーム

## 植物バイオを利用した研究

当チームでは、「地域農業の振興」、「地域環境の保全」、「地球温暖化防止対策」など、電気事業における各種経営課題の解決および電力自由化時代の厳しい経営環境を打開するため、植物栽培技術やバイオ応用技術に関する研究を行っています。

その一例として、新しい地域特産作物としての新品種開発、自然環境を保全するための貴重植物の増殖技術の確立などの研究を行っています。

また、二酸化炭素削減のための大規模植林の調査研究などにも取り組んでいます。

## チームメンバー紹介（5名）



左から守谷研究副主査、鈴木研究員、田村研究員、加藤チームリーダー、円内は津田研究員

## 加藤公夫チームリーダー

これまでに主に火力発電所の発電業務や環境保安業務を担当してきました。「蚊誘殺器の商品化研究」を担当していますが、農業分野での見識も幅広く頼れる存在です。趣味のゴルフ（草刈り？）の腕前は天下一品とか。

## 守谷栄樹研究副主査

当社で最初の農学部出身の専門研究員です。「加温冷却栽培の適用に関する調査研究」や「貴重植物群落の再生に関する研究」などを担当しています。当社でただ一人樹木医の資格を持ち、休日は樹木診断のボランティア活動もしているそうです。

## 鈴木素弘研究員

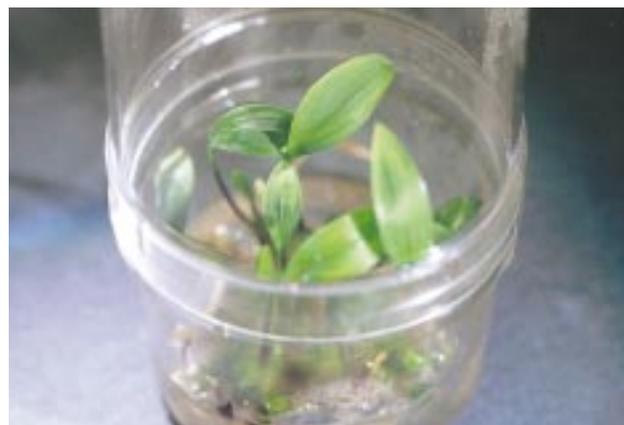
「バイオ技術による地域特産作物の開発に関する研究」や「大規模植林に関する調査研究」などを担当しています。以前は水産資源チームに所属しており海藻の増殖に関する研究に携わってきました。休日は趣味の鮎釣り、ゴルフやキノコ採取に熱中しているそうです。

## 津田その子研究員

これまでに「遺伝子組換えによる品種改良」や「植生による貯水池の景観改善」などを担当してきました。二人のお子さんを育てる母親でもあります（現在は産休・育児休暇中）。来年の5月に復職予定です。

## 田村英生研究員

「雑草防除に関する研究」や「土壌改良に関する研究」を担当しています。火力発電所などを経て、国内留学で4年間大学で植物バイオを学び、4月から研究所勤務となりました。



培養中のササコリ



クリーンルーム（無菌室）での作業の様子